

ヨツボシトンボ

Libellula quadrimaculata

トンボ科



ヨツボシトンボ。翅の前縁中央部に黒い斑点（矢印）

名前の由来

各翅の中央部に黒い斑点があり、これを「四つ星」にみたてたことに由来する。「トンボ」については、東北地方でトンボのことを「ダンブリ」「ドンブ」などといい、「ドンバ」→「トンバウ」→「トンバ」→「トンボ」となったのでは、という説がある。また「飛ぶ棒」が変化したものという説もあるが、「棒」が漢語であり、古代日本語としては不適切との指摘がある。漢字名：四星蜻蛉

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

形態的特徴

体長42～48mm。黄色い体色で翅の前縁中央部に黒い斑点がある。ここに黒い斑点があるのはヨツボシトンボのみ。

類似種：なし。

生息環境・分布

平地から低山地の池沼。

分布：北アフリカ、ユーラシア大陸から北アメリカに分布。国内分布は、九州以北。北海道内では、全域に分布。十勝

地方では、平地から低山地の池沼に生息している。帯広市、幕別町、新得町、豊頃町、浦幌町、大樹町、中札内村などの池沼、水溜りで確認されている。

食性・他生物との関わり

幼虫時期はユスリカやイトミミズ、魚の稚魚、オタマジャクシなどの水中の小動物。成虫になるとカやハエなどの昆虫類やクモ類。

幼虫は魚類やカエルなどに捕食され、成虫になるとムシヒキアブなどの肉食性昆虫やクモ類、大型トンボ類、鳥類などに捕食される。

繁殖生態・寿命

産卵はメス単独で、抽水植物周辺で打水して行われる。成虫は5月上旬から9月中旬に見られる。

寿命：幼虫期間不明、成虫期間1～2ヶ月。

興味深い話

■6月頃に多く出現するため、夏から秋にかけては見る機会が少なく、なじみが薄いトンボである。

■十勝地方のアイヌ語で、トンボ類を「ハンクカチュイ」という。

配慮事項

他のトンボ類と同様に、池や沼の中に水草が生えていることが大事。羽化するときに水草に登って羽化する。池や沼の周辺に樹木や草原があることも大事。羽化後の成虫の採

餌場と休息場となる。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期												
成虫期												

参考文献

「蝦夷の蜻蛉」 広瀬良宏・伊藤智 自費出版 1993

「北海道のトンボ」 二橋愛次郎 エコネットワーク 2002

「日本産トンボ幼虫・成虫検索図説」 石田昇三・石田勝義・杉村光俊 東海大学出版会 1988

「講談社カラー科学大図鑑 トンボ」 枝重夫 講談社 1982

「日本産トンボ大図鑑」 浜田康・井上清 講談社 1985

「トンボのすべて」 井上清・谷幸三 トンボ出版 1999

「カラー日本のトンボ」 石田昇三・浜田康 山と溪谷社 1973

「名前といわれ 昆虫図鑑」 栗林慧・大谷剛 偕成社 1987

「コタン生物記Ⅲ 野鳥・水鳥・昆虫篇」 更科源蔵・更科光、法政大学出版局 1977